

令和8年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月17日（金） 14時00分～15時40分まで
- 2 開催場所 清竜中学校 多目的室
- 3 出席委員 内藤留美子（14時25分）、阿蔵直子、森下伸弘、吉林彦吉
大角史和、鈴木省吾（14時50分）、青柳涼子
- 4 欠席委員 藤井信男、大石真理子
- 5 学校支援コーディネーター 野口めぐみ
- 6 学 校 袴田 稔（校長）、井ノ口さおり（教頭）、中村栄里（CS担当）
渡邊理保（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 協議事項
 - （1）1学期の教育活動を振り返り、2学期以降にコミュニティ・スクールでできること
 - （2）持続可能な放課後学習室ボランティア、見守りボランティアの手立てについて
- 9 会議録作成者 CSディレクター 渡邊理保
- 10 会議記録
 - ・司会の井ノ口さおり 教頭から、委員総数10名のうち8名の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。
 - （1）議長の選出
司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、野口めぐみ委員を推挙する旨の発言があり全員異議なくこれを承認した。
 - （2）前回会議録確認
議長の指示により、それぞれ確認をおこなった。
 - （3）1学期の教育活動を振り返り、2学期以降にコミュニティ・スクールでできることの熟議は2グループに分かれてグループ協議をおこない、委員より以下の発言があった。

【第1グループ】（阿蔵委員、大角委員、内藤委員、森下委員）

- ・比較的落ち着いていたと思う。
- ・不登校の子はいない。
- ・無理に高校に行ってもやめてしまう子もいる。
- ・個人個人で作業を進めるような時にトイレに立ってしまう子が多い。
- ・自分たちで学びを深めていく授業なので、自分の考えを持たない子は時間を持て余してしまう。
- ・親が問題を共有する必要がある。
- ・上下関係が少ないことも関係しているのかなと思う。

【第2グループ】（野口委員、青柳委員、吉林委員、鈴木委員）

- ・1年生の授業(数学)を観て、私語はあまりなく、楽しく授業を受けているように感じた。
- ・声掛けの仕方によっては授業中退屈になったり、ざわざわとしてしまったりする授業がある。
- ・昔は受験の時期になればしっかり取り組んでいた。
- ・子供のころ国語はいつでもできると思っていたが、社会に出るようになり危機感を感じて心掛けるようになった。
- ・自分が中学生の頃は、先生が怖く授業中私語ができる感じではなかった。
- ・友達のようにフレンドリーになると注意を聞けなくなってしまうそうだが、ダメなものはダメと伝えた方がよいと思う。
- ・部活動で来た時など、あいさつがしっかりできている。
- ・授業中、隣の子の椅子に足をかけたり、椅子の前が上がっている子、背中が座面についている子など、座る姿勢が気になった。

(4) 持続可能な放課後学習室ボランティア、見守りボランティアの手立てについて

- ・司会の井ノ口さおり 教頭から、放課後学習ボランティアの今後の計画については継続していけるよう検討していき、見守りボランティアは保護者や運営委員の方などいつでも自由参観でき、みなさんで見守り活動ができる環境になるようにしていければよいとの説明があった。

その他報告連絡事項

- ・司会から、土日の部活動の地域移行進捗についてと、第3回学校運営協議会の開催日程の報告があった。

第3回学校運営協議会 令和8年11月12日(木) 14時から